



配給:ウォルト ディズニー スタジオ モーションピクチャーズ ジャパン © Disney Enterprises, Inc. All rights reserved. 12月23日(祝・水)より全国ロードショー!!



子供から大人まで楽しめるファンタジー 一足早いクリスマスプレゼントをあなたへ

公開中のディズニーアニメ「カールじいさんの空飛ぶ家」に続いて、23日からティンカー・ベルと月の石」がロードショー公開される。ティンカー・ベルとは、おなじみのピーター・パンと一緒にネバーランドで暮らす妖精。ディズニーの人気キャラクターとして世界中で愛されている。今回はネバーランドの滅亡を救うため、ティンカー・ベルが「月の石」を求めて冒険の旅に飛び立つというストーリー。埼玉新聞社とポラスタグループは、シリーズ第2弾「ティンカー・ベルと月の石」の特別試写会を13日午後2時(開場同一時30分)から、イオンシネマ越谷レイクタウンで行う。一足早いクリスマスプレゼントになりそうだ。

脇田巧彦のお先に拝見

ピーター・パン、ネバーランド、海賊のフック船長、そしてティンカー・ベル、ウエーデー。
絵本、アニメ、テレビ、ミュージカルなどで取り上げられ、世界中の人々が子供のころからなじみ、心躍らせ、愛した。

ティンカー・ベルは、ピーター・パンと友達。彼女をピクチャーアップして独立させたのが、このディズニーアニメだ。
8年に一度の秋の祭典に「月の石」に光を当て、ピーターと妖精の粉を作る。妖精の粉がないと妖精たちは生きて

いけない。
友情の大切さ
この大切な「月の石」を収める「聖なる杖」を作るのが、物作りの妖精ティンカー・ベルの仕事。彼女は親友の、レンスと杖作りで励むが、レンスが良かれと思つてやめたことが裏目に出て、さあ大変。

ティンカー・ベルは、おなじみ「おしゃく」を起して、羅針盤を蹴ったところ、杖が倒れて「月の石」は粉々に。糊のりで貼ったりのだが...
今回は、ティンカー・ベルの旅に同行するホテルの、レイズ、親友レンスとの喧嘩、仲たがいが原因の、陰謀でドタバタな展開を見せるが、ラストは「友情」につながっていく。友情を育もうではないかという、いかにもディズニーアニメらしいメッセージが全編に込められている。友情とは相手を許すこと。そして、ごめんなさいと口に

出して謝らばいい。
イライラしたり、カッカするな。妖精の母親メアリーは、ワンツースリーと3つ数えて気持ちを落ち着けて事を行うと精霊になれるよと教える。
大気汚染、地球温暖化、戦争...こうしたことを地球上からなくしたいとの、大人たちの願望のアンチテーゼとして、ティンカー・ベルに夢の実現を託した。

悪いことをしたら謝ること
子供たちに夢と希望を、ディズニーの真髓。今回は「友情」を通じて、ネバーランドに平和な楽園を築こうとした。「悪いことをしたら謝ること」が大切だよ。
ラストで、粉々になった「月の石」を杖に飾ると、それに月の光があたり、今まで見たこともないような美しいオブジェの出現。まさに、様々な友情の結晶が精霊になって輝くさまは、大人の目にもいつまでも印象に残っている。エキサイティングで、心とむ

さなために、大切に守られてきた魔法の宝物「月の石」を収める、聖なる杖を作る。
しかし、親友のレンスとの友情にひびが入った時、なんと大切な「月の石」が粉々に砕けてしまう。このままだと魔法の力が失われてしまうことに。
妖精たちの命の源「月の石」を復活させ、ネバーランドを滅亡から救うために、ティンカー・ベルはピクシー・ホロウを飛び出し、伝説に導かれた冒険の旅に出る。彼女は綿の実で作った気球を操り、困難を乗り越えて前進するが、途中で何度もアクシデントに見舞われ、魔法の力を失い、飛べなくなる。
果たしてティンカー・ベルは、妖精たちの未来を救うことが出来るのだろうか? そんなとき、希望の光となつたのが親友レンスとの友情だつた。
彼女は許し合うことの大切さを学び、友情こそが何物にも代えがたいものであることに気付く。
第1作は、春をテーマにしたが、今回は神秘的な秋をモチーフにした。観客をピクシー・ホロウの外へと連れ出し、心躍らせる冒険やアクション、そして「友情」を展開させる。

1904年にイギリスの戯曲家、ジェームズ・M・バリによって生み出された「ピーター・パン」は、53年にディズニー映画「ピーター・パン」に姿を変えた。
この中で、チャールミングな妖精ティンカー・ベルは、瞬間にディズニーの人気キャラクターに。
それから、55年経った昨年12月、彼女の誕生の秘密とその素晴らしい才能が開花するまでを描いた第1弾「ティンカー・ベル」で、私たちは物作りの妖精として、自分らしく生きることを知つたティンカー・ベルの存在を目にした。
彼女は、今どうしているのだろうか?
その、待望の続編第2弾が、「月の石」である。
ネバーランドにある妖精の谷、ピクシー・ホロウ。秋の到来を祝う秋の祭典が近づいていた。今年、祭典の夜に青い満月が昇る、8年に一度の特別な夜である。
ティンカー・ベルは、物作りの妖精としての才能を発揮し、秋の準備に必要な素晴らしい道具を次々に作り出していた。
そんなある日、彼女は妖精の女王と呼ばれる、名譽ある任務を与えられる。それは、妖精たちの命とも言える、妖精の粉を絶や

世界で最も愛されている妖精ティンカー・ベルとは

ティンカー・ベルは、ピーター・パンと友達。彼女をピクチャーアップして独立させたのが、このディズニーアニメだ。
8年に一度の秋の祭典に「月の石」に光を当て、ピーターと妖精の粉を作る。妖精の粉がないと妖精たちは生きて

